



動物レスキュー通信

2013年8月 第2号 (平成25年7月1日発行)

発行元
一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく)：詩月財団 理事長
愛玩動物飼養管理士 一級
お問い合わせ : sizuku.foundation@gmail.com

昔の動物観

538年に日本に仏教が伝来し、日本人の動物観は仏教の影響を強く受けました。輪廻転生の考え方では動物と人間は共通の魂を持ち、人間と動物の間には連続性があると考えられていきました。例えば日本の昔話には「鶴の恩返し」のように美女に化けた鶴や、人間に化けたキツネやタヌキが登場するお話などが多くさんあります。これに対し西洋では日本のように動物が人間に化けるお話はほとんどありません。魔法で動物に変えられてしまつ王子さまなどが登場するお話がたくさんあります。この事からわかるように、昔の日本では動物は人間と同格だとされ、西洋では動物と人間の間には高い壁があり、動物は人間よりも劣っているとされていました。仏教の教えには全ての生き物を殺してはならないという戒律があります。そのため、四国巡礼のお遍路さんは誤って動物や虫たちを踏みつけてしまわないように、杖を持って鉈を鳴らしながら歩いています。そして天武天皇が牛、馬、犬、猿、鷄の肉食を禁止し、その後「生類憐みの令」「牛馬と殺禁止令」に至るまで、動物を殺す、食べる事を禁止する、動物をいたわる命令が何度も出されていました。

しかし西洋では人間が動物を支配する事を肯定する考え方が主流でした。ギリシアの有名な哲学者アリストテレスは人間優位の動物観、すなわち「人間は理性を持っているので、自然界の序列の中では頂点

日本人と歐米人 動物觀の違ひ

に位置し、知覚、欲求、運動能力だけを持つ動物には理性がなく、人間の下に位置する。理性的に優れているものが劣っているものを支配するのは自然でありなおかつ都合がいい。理的に劣ったものは優れたものの為に存在する。動物は人に労役と食物を提供する為に存在する」という、人にとって非常に都合のよい事を言いました。又、「奴隸と飼いならされた動物の効用はあまり変わらない」とさえも言い放っています。「このような動物に対する人間本位な考え方が西洋ではベースの動物觀になっていました」。このアリストテレスに次いで彼を正当化したのがデカルトです。彼は「動物は自動機械である。それは理性がないからだ。理性がないとは言語を持っていないからだ。心がないから意識がない。心がないから感覚がない。感覚がないから痛みがない。切りつけられれば身をよじたり悲鳴をあげるが、それは蝶番が音を立てるので同じで、それ以上のものではない」とし、動物実験をする人々の心を和らげたのでした。その後、200年程が経過し、これまでとは違う動物觀を唱えるベンサムという哲学者が現れました。彼は「正しい行為とは世の中に出来るだけ多くの幸福をもたらす行為である。幸福とは精神的、肉体的な痛みや苦しみのない状態である。動物も痛みや苦しみを感じる事ができるのだから、私たちが正しくあるとするならば、動物が痛みや苦しみを受け取れないようにななければならない。それが私たちの道徳的義務である。そして動物

は痛みや苦しみを受けないよう^に法律で守らなくてはならない」と説きました。その他には「動物は生後1カ月の赤ん坊よりも理性があり、会話もできる。そして苦しむ事ができる。法律はなぜ感覚のある生き物を保護しないのであろうか? 生きている物すべてが慈愛を持つて扱われる日が必ず来るはずだ」とも述べています。この思想が現代の西洋の動物観の基礎となつてゐるのである。

より良い歐米化

日本は明治時代に突入し、文明開化で西洋の文明がたくさん取り入れられました。しかし先程のベンサムの思想は確立しきれていなかつた為、西洋人の動物観としてアリストテレスやデカルトの思想が日本に取り入れられてしまったのです。(人々は動物は人間と同格だとされていました)日本に、人間が動物を支配する事を肯定する間に違つた欧米化が定着してしまいました。

一方イギリスはヨーロッパで最も動物に対する残忍な国だと言われ、その状況を重く見た貴族や知識階級の人達が、このような事は文明国にはあつてはならない。このままではイギリス国民はどんなに残酷で野蛮な人間になつてしまつたのだろう。という事で動物虐待防止運動が始まり、国民に動物を思いやり、憐れむ気持ちを持つように。と教育を始めました。

明治時代後半になり、牛馬が残酷に扱われている現状を受け、キリスト教牧師によつて日本でも動物愛護運動が行われ、そこから日本人には少しずつ動物愛護の精神が芽生えてきましたが、現在の殺処分の状況を見てもわかるように、まだまだ根付いていない現状です。元々日本人が持つていた思想を理解し思い出し、間違つた欧米化を認め、現在の新たな思想の欧米化を切に望みます。

詩月財団では日本人の動物観が良い方向に改善されるように努力してまいります。